

平成30年度 障害者支援施設寿波苑事業報告

第1章 総括

1. <概況>

地域では当事者の高齢化・重度化、当事者の親の高齢化、親なき後の問題、独居率の上昇、当事者のキーパーソン不存率の上昇などの深刻化が懸念されます。これらの課題・問題に的確に対応するため、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を持った取り組みが必要とされています。

最近は多くの事業所で人材の確保が難しい状況です。人材の確保、人材の育成、人材の活用に向けて取り組むと共に、社会から高い信頼を得られるように努める必要があります。

このような中、平成30年度は、社会福祉法人 松友福社会の基本理念の下、次の長期目標及び短期目標を設定し、先駆性・独自性・自主性を発揮した事業展開を図りました。

なお、各事業の実施状況については、概ね初期の目的を達成できたと考えております。

- (1) 長期目標：自己管理、コミュニケーション能力の向上、組織の人材育成を図る。（初任者研修・現任研修・専門研修を充実する。）
- (2) 短期目標：職員同士が協力し合う関係を作り、チーム力を強める。（個性の違う仲間、お互いを尊重し、認め合う。）

2. <環境整備>

(1) 設備等

- ① ナーシングストレッチャー2台（更新）
 - ② 送迎車両イプサムタイヤ購入
 - ③ カーテンレール各居室（102.103.105.106.206.207）修理
 - ④ ベッド1台リモコン部分修理
 - ⑤ 厨房Vベルト交換
 - ⑥ ドアノブ3カ所交換（事務所、厨房、女性更衣室）
 - ⑦ ベッドリモコン（3モーター用）1個購入
 - ⑧ 大型洗濯機、大型乾燥機修理（水漏れ）
 - ⑨ 食器洗浄機（更新）
 - ⑩ ベッド（3モーター）1台購入
 - ⑪ 送迎車両ハイエース修理
 - ⑫ 外壁改修、屋上防水改修工事
 - ⑬ パソコン11台購入、ケアワーカールームプリンター1台購入
 - ⑭ LED非常灯専用型10台、LED埋込下面20台更新
- （①～⑭を整備し、快適性・利便性の向上に努めました。）

(2) 防災訓練

平素より様々な場合を想定し、適宜、消防署職員の立ち会いの下、実践的防災訓練（年4回）を実施しました。

平成30年7月豪雨に伴い、三原市より災害派遣福祉チーム（DWA T）、防災部会への参画、また事業所を開放し、生活空間の提供、入浴支援をして、在宅利用者の積極的な受け入れを行う中で、職員による災害ボランティアの派遣など地域貢献活動を行いました。施設は災害時には地域の防災拠点となるため、いつ起こるかわからない災害に備えて、今後も安全な暮らしを確保するための基盤整備に努めてまいります。

(3) 各関係機関

三原市は、平成19年度には障害福祉サービス等を適正かつ円滑に提供するため、事業者、雇用、教育、医療機関等の関係者からなる「三原市地域自立支援協議会」を設置し、地域課題解決のための専門部会を目的別に開催し協議を重ねています。毎月、定例会議や専門部会（相談支援、権利擁護、福祉・介護人材確保等総合支援）のメンバーとして参加しています。広島県身体障害者施設協議会の推薦を受け、昨年度（H29）に引き続き、広島県サービス管理責任者研修担当を受け、計4日間研修の役割を担いました。

(4) 苦情対応

平成30年度 3件（前年度0件）

内容：ケアについて（吸痰方法、職員による声掛け）

その他（衣類の破損）

苦情申出窓口については、利用者自治会役員と連携を密にし、適切対応する体制整備に努めております。

(5) 実習生受け入れ状況

平成29年度 13人

↓

平成30年度	6人	◎広島国際大学	1人(作業療法士実習)
		◎広島県立三原支援学校	1人(介護実習)
		◎岡山短期大学	1人(保育実習)
		◎姫路獨協大学	1人(作業療法士実習)
		◎広島女学院大学	2人(給食運営臨地実習)

(6) ボランティアの状況

①藤の会（シーツ交換）＜毎月＞	概ね	12人
②声の友（朗読）＜毎月＞	概ね	4人
③陶芸＜毎月＞	概ね	2人
④将棋・オセロ・カラオケ（利用者活動）＜毎月＞	概ね	1人
⑤いなほ・なかまボランティア・めぐみの会・声の友・更生保護女性会（餅つき交流大会）		27人
⑥みたか連		20人
⑦三原市立第四中学校吹奏楽部		10人

(7) 利用者支援の取り組み

平成28年10月より、“幸せ企画（利用者個々の要望を叶える）”に取り組んでいます。今後も継続して取り組むことにより、本人の満足度を高める支援を目指したいと思います。

実施内容：お墓参り、食事、家族と一緒に外出、地元へ帰りたいなど

幸せ企画の達成度 88%（H31.3.31）

(8)資格取得者（行動計画：資格取得に向けての支援体制の整備）

介護福祉士	1人
喀痰吸引等第一号研修	3人
相談支援専門員	2人
サービス管理責任者	2人

第2章 社会的支援（相談部門）

目標：『本人の想いを丁寧に聴く。』

1. <入所利用状況>

平成31年3月31日現在の三原市内の入所利用者は62人中24人、三原尾道保健福祉圏域（三原市・尾道市・世羅町）では42人が利用されています。（表1）

利用者の障害等の状況は中途障害が79%を占めています。（表2）

平均年齢は62.7歳（昨年度61.8歳）（表3-1）、開所1年目の平均年齢は51.9歳であり、着実に高齢化に伴い重度化が進展しています。（表3-2）

平成30年度の入所は3件（昨年度7件）・退所2件（昨年度8件）です。（表4）

また、平成30年度末現在の待機者は13人（昨年度12人）です。病院からの入所利用するケースが多く、特に昨今であれば、病院より早期退院・転院するケースでの入所相談が多くなっています。

2. <在宅利用状況>

ショートステイの利用は前年度の103件から158件と利用対象者は増となり、延日数は682日から981日と増になりました。（表5）ショートステイの利用状況は、定期的な短期間（1泊2日程度）の利用又は家族の介護力低下、レスパイト（休息）形態となっています。

また、生活介護事業は113件から129件、延べ日数は464日から496日と増になりました。（表6）

在宅利用者の状況から、身近で利用しやすい施設づくり、地域の福祉ニーズに合致した経営及び運営が、より一層必要となります。

3. <相談状況及び相談支援体制>

障害者総合支援法（平成25年4月）により、地域で暮らせるサービスの仕組み、更なる相談支援体制の充実が必要とされています。その中で、当施設においても平成24年4月から特定相談支援事業所の指定を受け、相談支援体制の強化に向けて取り組んでおります。

◎相談件数152件（昨年度153件）、月平均12件（昨年度12件）

近年の相談状況は、病院からの施設利用の相談件数が多く、また、地域生活（在宅生活）を対象とした相談支援業務が増加しています。

◎三原市内相談支援事業所16箇所（昨年度14箇所）

幅広い障害者の生活支援ニーズに対応すべく、日中サービスの充実を図るため、利用者の送迎対応及び各関係機関・家族等との連携を密に図っています。

今後も更に地域における相談支援機関及び各関係機関との連携が必要不可欠であり、地域福祉の生活支援の動向に注視する必要があります。

支援機関別在籍者状況（表1）

H31. 3. 31

市 福 祉		男	女	計	県 内 町	男	女	計
広 島 市	西	0	1	1	大崎上島町	3	0	3
	安佐北	0	0	0	世羅町	0	0	0
	安佐南	1	0	1				
	安芸				県内町計(B)	3	0	3
	佐伯							
小計	1	1	2					
呉市	1	2	3					
竹原市	1	3	4					
三原市	15	9	24					
尾道市	12	6	18					
福山市	2	0	2					
府中市	0	0	0	愛媛県	0	1	1	
三次市	1	1	2	兵庫県	1	0	1	
庄原市	0	0	0	山口県	0	1	1	
東広島市	1	0	1	県外計(C)	1	2	3	
市計(A)	34	22	56	合計(D=A+B+C)	38	24	62	

障害等の状況（表2）

H31. 3. 31

	障 害 等 級	脳 性 マ ヒ	脳 血 管 障 害	脊 髄 損 傷		リ ウ ー マ チ	頭 部 外 傷	運 動 ニュー ロン 疾患	難 病	そ の 他	療 育	精 神	小 計	合 計
				胸 髓 損 傷	頸 髓 損 傷									
男性	1級		11		3					10			24	38
	2級		7		1					2		1	11	
	3級	1	1										2	
	5級	1											1	
女性	1級	6	2		1					5			14	24
	2級	2	4							2			8	
	3級	1											1	
	療育									1			1	
計		11	25		5					19	1	1		62

年齢構成（表3-1）

	25~ 29才	30~ 34才	35~ 39才	40~ 44才	45~ 49才	50~ 54才	55~ 59才	60~ 64才	65~ 69才	70才 以上	計	最年長	最年少	平均
男性	0	0	1	0	3	0	2	12	9	11	38	82	39	63.8
女性	0	0	0	3	1	5	2	2	6	5	24	85	40	61.6
計	0	0	1	3	4	5	4	14	15	16	62	85	39	62.7

障害支援区分（表 3-2）

障害支援区分	6（重 度）	39人
	5（重 度）	15人
	4（中 度）	4人
	3（中 度）	4人
	2（軽 度）	0人
	1（軽 度）	0人
合 計	62人	

障害支援区分 <平均 5.4>
<昨年：平均 5.4>

入退所状況（表 4）

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所	市福祉										1		1	2
	町 村											1		1
	県 外													
	計										1	1	1	3
退 所	市福祉										1		1	2
	町 村													
	県 外													
	計										1		1	2
入所人員（初日）		61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	62	
短期入所(ショートステイ)		10	13	13	11	15	14	14	14	15	11	14	14	合計158件

短期入所（ショートステイ）利用状況 平成13年度～（表 5）

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
件数	56	65	69	73	71	74	63	72	95	83	104	99	99	118	126	117	103	158	1645
延日数	338	387	515	501	615	759	579	380	510	492	466	485	561	779	848	873	682	981	10751

生活介護事業・日中一時支援（日帰り）利用状況（表 6）

<生活介護事業>			
平成29年度	件数	113件	→ 平成30年度 件数 129件
	延日数	464日	延日数 496日
<日中一時支援>			
平成29年度	件数	0件	→ 平成30年度 件数 5件
	延日数	0件	→ 延日数 9件

【 在宅利用者利用総数 】

< 短期入所（ショートステイ）・生活介護事業・日中一時支援 >

平成29年度 件数 216件 → 平成30年度 件数 292件
 " 延日数 1146日 → " 延日数 1486日

第3章 生活支援（介護部門）

目標：『利用者個々に寄り添う支援』

～その人らしい生活の支援～

1. <QOL（生活の質）の向上と機能維持>
利用者の人権を尊重し、利用者の長所・強みに着目した支援を行い、機能維持に努めました。
2. <個別支援計画（ケアプラン）の策定と実施>
それぞれの利用者が希望に向かって活動できるよう計画を立てました。
担当職員を中心に計画に基づいた支援を実施しました。
3. <躍動と安らぎのある生活（活動）の支援>
クラブ活動（華道・陶芸・喫茶・全体レクリエーション・書道）や、日中支援活動などを通して他の利用者との交流が出来るよう支援しました。
季節ごとの行事を楽しめるよう、計画・実施しました。
4. <感染予防>
施設内の清掃・消毒、換気、手洗い・うがい等の感染予防を行いました。
5. <身体拘束防止>
身体拘束防止委員会を中心に、支援の工夫と見直しを行いました。
やむを得ず必要となった場合、本人・家族への説明を行い実施、内容の記録を行いました。
6. <リスク防止>
リスク防止係を中心に、実際に起こったヒヤリ・ハットの事例を整理し対策方法について検討しました。

○アクシデント	3件	前年度	2件
○インシデント	55件	前年度	41件
○本人の不注意	1件	前年度	16件
○本人の行為	63件	前年度	107件
○介護上のうっかり	8件	前年度	12件
7. <専門性の向上と人材育成>
マニュアルに基づく段階的な指導による新人研修を行いました。

第4章 医療・保健衛生（看護部門）

目標：看護『健康維持』

リハビリ『日常生活に沿ったリハビリに努めます。』

1. <健康管理、異常の早期発見・早期治療>

施設看護の最も重要な仕事である健康管理と異常の早期発見・早期治療を達成するために、バイタルサインのチェックをはじめ健康診断の実施、異常時には本人・家族等とインフォームドコンセントの下、適切な医療を行いました。

2. <重度化への対応>

この一年、定期的に入院治療を必要とするケースがありました。（表7）慢性疾患やその急性増悪のため、適切な対応を怠ると重症化すると思われるケースも多くありました。

また、嚥下障害による経管栄養者16人（昨年度16人）、在宅酸素療法者11人（昨年度13人）と利用者の医療・保健ニーズは高くなってきています。これらの対応については主治医の診察・指示に基づいて受診し、協力病院と主治医相互の連携で精密検査や処置を行い、迅速かつ適切な対応に努めました。

外来受診状況は、（表8）の通りとなっています。

3. <感染症予防>

感染症予防については、インフルエンザは流行前（10月中）にワクチン接種を行い、玄関にマスク及び手指消毒を設置しました。また、一昨年より冬季期間中、毎朝、全館窓を開けての換気により、インフルエンザの発症等を防ぐことができました。その他の感染症についてもマニュアルに従って対応し、防ぐことができました。

4. <リハビリ>

リハビリについては、個々のリハビリテーション計画を作成し、実施・モニタリングを行い、作業療法士（OT）による利用者との対話を取り入れ、呼吸器リハビリを含め個別のリハビリや集団リハビリを実施しています。（表9）

また、看護・介護と連携し、利用者の状態にあったポジショニングを随時考え快適性の向上及び拘縮予防に努めました。

今後も松尾内科病院リハビリスタッフとの連携を図り、利用者に寄り添ったリハビリを実施していけるよう努めてまいります。

5. <専門知識・技術の向上への取り組み>

利用者の健康と生活の質を高めるためにも、保健衛生の知識や技術向上の必要性が強く求められています。そのために必要な知識・技術の研修や研鑽を重ね、利用者のニーズに応え、安心して健康で快適な生活ができるよう今後も努めてまいります。

入院状況（表7）

肺炎・嚥下性肺炎	12件	検査目的	1件
胃瘻気管チューブ交換	27件	その他	18件

入院先（転院含む）

松尾内科病院	49件	三原赤十字病院	1件
公立みつぎ総合病院	0件	三菱三原病院	1件
須波宗齊会病院	1件	三原医師会病院	2件
三原城町病院	0件	興生総合病院	2件
尾道総合病院	1件	小泉病院	1件

平成28年度（56件）→平成29年度（45件）→平成30年度（58件）

外来診療状況（表8）（単位 件）

診療科	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
眼科	5	2	1	2	1	0
整形外科	10	7	3	15	9	5
歯科	101	108	129	160	164	192
皮膚科	38	36	18	6	5	26
内科	18	26	28	20	36	23
泌尿器科	10	5	8	7	10	15
耳鼻科	13	3	3		7	10
婦人科		2	1		2	0
精神科	30	59	54	25	16	17
リハビリ						
外科	2	15	4	5	5	16
循環器	2	2	1		1	
神経内科						
その他（透析）	158	159	145	138	8	5
合計	387	424	395	378	264	309

リハビリ実施状況（表9）

（ ）内は在宅利用者

実施月	OT
4月	146(11)
5月	187(12)
6月	180(12)
7月	139(4)
8月	187(13)
9月	200(10)
10月	248(9)
11月	281(11)
12月	284(13)
1月	271(9)
2月	292(9)
3月	261(10)
合計	2,676(123)

第5章 食事（給食部門）

目標：『安心して楽しみにして頂ける食事の提供を目指します』

1. <給食会議の運営>

利用者からの食事についての意見や要望を聞くため、毎月1回利用者参加による給食会議の運営を継続して行いました。その結果、建設的な意見がたくさん提案され、ニーズの把握に繋がり、少しでも利用者の要望に応じた食事が提供できるよう努めてまいりました。また、栄養バランスのよい食事の提供を行えるよう努めています。

2. <嗜好調査の実施>

利用者の嗜好、ニーズの把握、コミュニケーションを図ることを目的に平成30年11月に厨房スタッフによる嗜好調査を実施しました。様々な意見を頂き、利用者とは直接話すことにより利用者の食事に対する思いを再確認できました。

3. <行事食・選択献立の実施>

行事食では利用者・家族・ボランティアのご協力を頂き、誕生会、グルメ会、お花見会、ふれあい祭り、餅つき大会、クリスマス会、お楽しみ給食等で季節感のある給食の提供に努めてまいりました。

選択献立は月に1～2回、利用者の要望を取り入れながら、食べたいものを選ぶことにより「食」を楽しんで頂く事を心掛けて実施しました。また、平成30年度から新たに月1回程度ハーフ食を実施しています。法人施設と協力しながら、少しでも利用者の満足度を上げられるよう食事の提供に努めてまいります。毎回好評であるキャベツ、レタス、大根のお代わり食も継続して行いました。

<年間活動報告>

※毎月、誕生会、お代わり食、選択献立、ハーフ食は実施

4月	お花見会	10月	ふれあい祭り
5月	たんごの節句	11月	にぎり寿司
6月	全レク（ミックスジュース）	12月	餅つき大会 クリスマス会
7月	七夕そうめん	1月	お屠蘇 抹茶会 七草 鏡開き グルメ会（もつ鍋風）
8月		2月	節分（巻き寿司、節分豆） グルメ会（すき焼き） 全レク（ベビーカステラ）
9月	彼岸 全レク（デコレーションアイス）	3月	ひな祭り 彼岸 グルメ会（おでん）

4. <誤嚥防止>

近年は障害の重度化が進み、利用者のADL（日常生活動作）も低下傾向にあり、自助具や食器の工夫についても従来より実施していますが、誤嚥防止の為、喫食時の体位や食事の形態について、より注意が必要な利用者が増加しています。安全にかつおいしく食べて頂けるよう、ミキサー食、ゼリー食等の提供も継続して行いました。

また、慢性疾患も多いため、栄養のバランス等においても、医師からの指示に基づき、個々の健康管理に努めました。

5. <栄養ケアマネジメント>

栄養状態のスクリーニングを行い、アセスメント、栄養ケア計画を各部署と連携をとり作成し、実施、モニタリングを行い、適切な栄養補給であるか、確認を行いました。栄養情報の提供と併せて、旬の食材と主なる栄養価の掲示などを行い、食事への意欲の向上に努めてまいりました。

栄養リスク（H31.3.31現在）

低リスク	30人
中リスク	27人
高リスク	1人
入院者	4人

療養食種（H31.3.31現在）

腎心臓病食	24人	胃潰瘍食	8人
糖尿病食	19人	脂質異常症食	2人
肝臓病食	5人	膵臓病食	2人
常食	2人		

食事用具（H31.3.31現在）

箸	1人	スプーン	10人
箸、スプーン	17人	新スプーン	5人
スプーン、フォーク	3人	先割れスプーン	1人
介助用箸、介助スプーン、介助フォーク	10人	介助用食器	6人

食事形態（H31.3.31現在）

普通食	10人	2cmカット食	16人
1cmカット食	9人	カッター食	6人
ミキサー食	1人	ゼリー食	3人
経管栄養食	13人		

6. <衛生管理>

衛生管理については、「衛生管理マニュアル」に準じた対策を実施すると共に、電解水による徹底した除菌洗浄により、安全安心な食事の提供が実現しています。

厨房内の清掃作業では、より確実に出来るよう職員全員で取り組み、作業しやすい環境整備と衛生意識の向上に繋がっています。利用者個々のニーズの把握、調理方法や献立等の見直し・変更を行うことにより利用者に喜ばれる食事の提供に努めてまいりました。

また、7月の豪雨災害時、断水（12日間）になりましたが、衛生管理を徹底し、食中毒や事故が起こることなく食事を提供することができました。

平成30年度 年間活動報告

	研 修 会 等	生 活 行 事	そ の 他
4月	研修「福祉職員としての基本・基礎を学ぶ」 外部講師：鏡本 智昭	誕生会 蛭子神社例大祭 お花見会 半日外出（竹原道の駅）2回	ショッピング （3回） ＜イオン・フジグラン＞
5月	研修「障害者差別解消法について」 外部講師：三原市社会福祉課 中岡昌弘	誕生会 半日外出（竹原道の駅）2回 日帰り旅行（広島空港）1回 害虫駆除 ワックス清掃	ショッピング （3回） ＜フジグラン＞
6月	研修「ケアガイドライン」各部署ごとでのグループ討議	誕生会	ショッピング （3回） ＜イオン・フジグラン＞
7月	防災訓練（夜間想定）	誕生会	ショッピング （3回） ＜フジグラン＞
8月	研修「食について」 外部講師：㈱ジェイ・エム・エス 広島営業所 永井 講師	誕生会 物故者供養	
9月	研修「チーム力アップ」 外部講師：ひと創研 堀中 嶽水	誕生会 オセロ大会	ショッピング （3回） ＜フジグラン＞
10月	防災訓練 （日中の総合訓練）	誕生会 須波観音法要 半日外出（三原駅周辺散策） 3回 寿波苑ふれあい祭り	ショッピング （3回） ＜イオン・フジグラン＞

11 月	研修「接遇研修について」 外部講師：アイ・コミュニ ケーション 石井 千恵	誕生会 三原浮城まつり ワックス清掃	ショッピング (3回) ＜フジグラン＞
12 月	研修「虐待防止について」 講師：生活支援課長 谷口 健一	誕生会 大掃除	餅つき大会 クリスマス会
1 月	研修「交通安全啓発」 DVD 2本鑑賞	誕生会 グルメ会	正月行事 新年会
2 月	防災訓練 (夜間緊急連絡網)	誕生会 グルメ会	節分行事
3 月	研修「ケアガイドライン」 部署でのグループ討議と まとめ	誕生会 グルメ会	ショッピング (3回) ＜フジグラン＞
主なクラブ活動 1回／月		<input type="checkbox"/> 喫茶部 <input type="checkbox"/> 全体レクリエーション部 <input type="checkbox"/> 陶芸部 <input type="checkbox"/> 華道部 <input type="checkbox"/> 書道部	
<input type="checkbox"/> 日中支援活動（創作的活動など）2～3回／月			
<input type="checkbox"/> 自由外出支援（平成29年6月より実施）			